



祝 クリスマス



エルサレムに近づき、都が見えたとき、イエスはその都のために泣いて、言われた。「もしこの日に、お前も平和への道をわきまえていたなら……。しかし今は、それがお前には見えない。やがて時が来て、敵が周りに堡壘を築き、お前を取り巻いて四方から攻め寄せ、お前とそこにいるお前の子らを地にたたきつけ、お前の中の石を残らず崩してしまうだろう。それは、神の訪れてくださる時をわきまえなかったからである。」

(ルカ福音書 19：37～44)

日本キリスト教会 札幌豊平教会

牧師 稲生義裕

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15

TEL 090-8863-7316

新Eメール contactch@ccj-toyohira.church

新HP <https://ccj-toyohira.church>



Merry Christmas!

主イエスの誕生を、神に感謝し、お祝い申し上げます。

前年、前々年に続き 2022 年の一年間も、なお“コロナ”をめぐる事態の中に身を置いて過ごしました。自粛と「ひとり」を強いられる月日の長さが、それぞれの心身に影を落とします。けれど札幌豊平教会は、可能な限りの感染予防策を講じながら、短縮型礼拝をささげ続けると共に、市民活動・芸術活動をサポートするためにも礼拝堂を開放しました。そのことを通して、厳しい環境下にあっても「表現する人の息吹き」を豊かに味わう幸いを頂きました。

しかし、気がかりなのは、手作りの無料弁当を食べて下さる方々が増え続けることです。開始から6年半を迎える朝弁当は 110 食を超える勢い。来春には 7 年目を迎える毎週金曜日の昼弁当は 300 食を超えました。困窮の広がりや深まりを感じています。

この更なる困窮の原因の一つは、ロシア・ウクライナ戦争による物価高騰。クリスマスには 10 か月を超える長い戦争。この事態に便乗して軍備拡張、堂々と戦争のできる国となるための憲法改悪への動き、福島の実験から学ばない原子力政策の退行。私たちの為政者は、「平和の道」をどこに見出すつもりでしょうか。

札幌豊平教会は、あきらめません。「礼拝・祈り・隣人の必要に仕える」という基本の歩みの中で、深められ鍛えられ、平和と共生の道を求め、教会内外の皆で支え合いながら、苦労も感動も共にしつつ歩みたいと願っています。この年の御支えに心からの感謝を申し上げます。主を見上げ希望に支えられて新しい年を迎えます。

皆様が、神の祝福の道を歩まれますことを。

2022 日本キリスト教会 札幌豊平教会